

茨城県陶芸美術館 企画展

土イジリ

プレス・リリース



茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地（笠間芸術の森公園内）

Tel: 0296-70-0011 Fax: 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

土イジリ

2 主催

茨城県陶芸美術館

3 後援

笠間市、茨城新聞社

4 会期

2021年7月17日（土）～9月26日（日） 63日間 開催

5 利用情報

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし8月9日、16日、9月20日は開館）

8月10日（火）、9月21日（火）

6 観覧料

一般730（580）円、70歳以上360（290）円、高大生520（420）円、小中生260（210）円

※（ ）内は20名以上の団体料金。土曜日は高校生以下無料。（ただし、長期休業日に当たるときを除く）

※9月15日（水）～9月20日（月）は満70歳以上の方無料

7 展覧会概要

陶磁器の材料である粘土の最大の特長は、可塑性といわれる「ものをカタチづくる」性質です。本展では、「土イジリ」をキーワードに、「どろどろ」など、様々に変化する土の状態に着目します。作家それぞれが土という素材に向き合い、どのようにして作品に生かしたか、「ちぎる」「よじる」「切る」「積む」「あぶる」「いぶす」「けずる」「組み上げる」などの観点から、現代陶芸の「カタチ」を紹介します。

陶芸は、身近にもかかわらず、絵画や彫刻にくらべて鑑賞の難易度が高いフィールドと言われます。それは実用と表現との不明瞭な関係が鑑賞者を戸惑わせるからだと考えます。本展では、陶芸を少しでも「分かりやすく楽しめる」ようにパネルや映像機器を用い、制作の工程を併せて展示したり展示室内や館入口前の屋外などに大型作品をダイナミックに展示したりすることで、作者と鑑賞者とがそれぞれに持つ「土」のイメージを共有しながら観覧できるような展示を工夫して紹介します。

また、地元地域の教育機関などと連携しながら、実際の「土イジリ」が体験できるような関連行事など、3つのワークショップを開催することで、「土イジリ」の、延いては「陶芸」の楽しさ、奥深さを参加者に味わってもらえるような展覧会を目指します。

広報文1（50文字）

「土イジリ」をキーワードに、「どろどろ」など、様々に変化する土の状態に着目して陶芸作品を紹介します。

広報文2（85文字）

「土イジリ」をキーワードに、「どろどろ」など、様々に変化する土の状態に着目し、陶芸作品とともに映像資料などを活用して、作家それぞれが土と向き合う様子を合わせて紹介します。

広報文3（116文字）

「土イジリ」をキーワードに「どろどろ」など、様々に変化する土の状態に着目し、作家それぞれが土という素材に向き合い、どのようにして作品に生かしたか、制作過程の映像資料なども活用しながら、様々な観点から現代陶芸の「カタチ」を紹介します。

8 見どころ

(1) 土の状態や制作工程の動作に着目したトピックごとに展示。

(2) 制作工程を写真パネルおよび映像資料を活用した展示。

(3) 当館入口前屋外に大型作品を展示。

(4) イラストを多用したワークシートやセルフガイドで「分かりやすく」展示。

9 関連企画

◆ワークショップ1「怪獣みたいな作品を協力して完成させよう!」[要予約]

内容：本展に展示する齋藤敏寿氏の作品を、参加者が協力して組み上げるワークショップです。

日時：7月17日(土) 13時00分から16時30分

場所：当館1階入口

講師：齋藤敏寿氏(筑波大学芸術系准教授)

対象：小学生・中学生・高校生・大学生(小学生の方は保護者の同伴が必要です。)

参加費：無料(展覧会をご覧頂く場合は、別途観覧料が必要となります。)

定員：30名(先着順)

予約：電話にて7月3日(土)9:30より受付開始 定員になり次第受付終了
(電話 0296-70-0011 受付時間 9:30~17:00 休館日は受付できません。)

◆ワークショップ2「“土イジリ”を体感しよう!」[要予約]

内容：陶芸用粘土を用いて、土で自分の気持ちや様々な言葉をカタチにする

「土イジリ」を体感するワークショップです。

日時：8月7日(土) 13時30分から16時30分

場所：茨城県立笠間陶芸大学校 施釉室(集合は当館1階ロビー)

講師：佐藤雅之氏(茨城県立笠間陶芸大学校特命教授)

対象：小学生以上(小学生の方は保護者の同伴が必要です。)

参加費：無料(実技の前に展覧会をご覧いただくため、別途観覧料が必要となります。)

定員：15名(先着順)

予約：電話にて7月18日(日)9:30より受付開始 定員になり次第受付終了
(電話 0296-70-0011 受付時間 9:30~17:00 休館日は受付できません。)

◆ワークショップ3「マネックスターをつくろう!」[要予約]

内容：オープン粘土をつかって、浅野暢晴氏の作品「トリックスター」をマネて「マネックスター」を制作し、写真を撮って、SNSにて発信をするワークショップです。

日時：8月21日(土) 12時30分から16時30分

場所：当館地下1階オープンギャラリー

講師：浅野暢晴氏(彫刻家)

対象：中学生以上(中学生は保護者同伴が必要です。)

※スマートフォンもしくはタブレット端末で撮影した画像をご自身のtwitter等のアカウントで投稿できる方。

参加費：500円(展覧会をご覧頂く場合は、別途観覧料が必要となります。)

定員：15名(先着順)

予約：電話にて7月24日(土)9:30より受付開始 定員になり次第受付終了
(電話 0296-70-0011 受付時間 9:30~17:00 休館日は受付できません。)

◆ギャラリートーク(予約不要 ただし先着15名)

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時：7月24日(土)、8月28日(土) 各日とも13時30分から

会場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料(観覧料にてご聴講いただけます。)

◆つくば美術館土曜講座

「夏企画テーマ『土イジリ』」

講師：岩井基生(茨城県陶芸美術館主任学芸主事)

日時：7月31日(土) 13時30分から15時00分

会場：茨城県つくば美術館 2階アルスホール

TEL:029-856-3711 ※詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

◆こどもワークシート・セルフガイド

企画展「土イジリ」をよりよく楽しむためのワークシートやセルフガイドを館内で配布します。
当館ウェブサイトからもダウンロードしてお使いいただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

11 プレスレビューのお知らせ

7月17日(土) 13時30分よりプレスレビューを行います。

(なお、同日 13時からワークショップ1「怪獣みたいな作品を協力して完成させよう!」を予定していますので、併せてご覧いただければ幸いです。)

12 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345 (笠間芸術の森公園内)

TEL : 0296-70-0011 FAX : 0296-70-0012

担当学芸員 : 学芸課 岩井・芦刈・名村

広報担当 : 企画管理課 柴崎 e-mail : kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

13 出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。使用の際には作品キャプションを併記してください。

① みずのほね

佐藤 雅之 水の骨 (2006年 当館蔵)



②

兼田 昌尚 Work99-11 (1999年 当館蔵)



③

加藤 委 サンカクノココロ2013
(2013年 当館蔵)



④

稲崎 栄利子 木霊 (2011年 当館蔵)



⑤ きょうかい・けい

秋山 陽 境界・系 I (1998年 当館蔵)



⑥

伊勢崎 淳 備前 黒四方削花入
(2003年 当館蔵)



⑦

田中 知美 ある夜の出来事
(2014年 当館蔵)



⑧

齋藤敏寿 archetype91021-93100
(2019年 個人蔵)



12 作品キャプション

- ① 佐藤 雅之 水の骨 (2006年 当館蔵)
- ② 兼田 昌尚 Work99-11 (1999年 当館蔵)
- ③ 加藤 委 サンカクノココロ2013 (2013年 当館蔵)
- ④ 稲崎 栄利子 木霊 (2011年 当館蔵)
- ⑤ 秋山 陽 境界・系 I (1998年 当館蔵)
- ⑥ 伊勢崎 淳 備前 黒四方削花入 (2003年 当館蔵)
- ⑦ 田中 知美 ある夜の出来事 (2014年 当館蔵)
- ⑧ 齋藤敏寿 archetype91021-93100 (2019年 個人蔵)